



## 2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年10月24日

上場会社名 石塚硝子株式会社 上場取引所 東・名  
 コード番号 5204 URL <http://www.ishizuka.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 石塚 久継  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 常務執行役員 財務部長 (氏名) 畔柳 博史 (TEL) 0587-37-2111  
 四半期報告書提出予定日 2019年10月31日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年3月21日～2019年9月20日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	38,912	4.1	1,562	6.2	1,442	6.0	979	△28.3
2019年3月期第2四半期	37,389	0.9	1,470	△17.0	1,361	△12.7	1,366	△8.2

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 681百万円(△57.8%) 2019年3月期第2四半期 1,617百万円( 6.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	233.90	—
2019年3月期第2四半期	390.78	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第2四半期	79,865	27,979	31.3	5,978.67
2019年3月期	81,199	27,597	30.4	5,888.48

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 25,028百万円 2019年3月期 24,652百万円

(注) 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、前連結会計年度に係る指標等については、当該会計基準等を遡って適用した後の指標等となっております。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	—	—	65.00	65.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	48.00	48.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2019年3月期 期末配当金の内訳 普通配当 45円00銭 記念配当 20円00銭(創業200年記念配当)

### 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年3月21日～2020年3月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	75,000	5.4	2,500	6.1	2,300	7.3	1,500	0.8	358.31

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正につきましては、本日(2019年10月24日)に公表いたしました「2020年3月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期2Q	4,219,554株	2019年3月期	4,219,554株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	33,338株	2019年3月期	33,047株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期2Q	4,186,358株	2019年3月期2Q	3,496,654株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(追加情報)	10
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用環境や個人所得は緩やかに回復しているものの、長期化する米中の貿易摩擦の影響により輸出や設備投資に弱さが見られました。先行きにつきましては、米中の通商政策の動向や英国のEU離脱問題など依然として不透明な状況が見込まれます。

このような状況のなか、当社グループは、当期を初年度とする3か年の中期経営計画『ISHIZUKA 2021～次の100年に向けて～』をスタートさせました。この中期経営計画では、前中期経営計画から引き続き「グループ横断機能の更なる強化」を推進するとともに、最終年度である2021年度に「営業利益率5%の達成」及び「非容器事業を連結売上高の10%まで拡大」をめざして取り組んでおります。

売上高につきましては、PETボトル用プリフォームが主要ユーザー向けの出荷を大きく伸ばしたことなどにより、グループ全体の売上高は38,912百万円(前年同四半期比4.1%増)となりました。利益につきましては、エネルギー価格の上昇はありましたが売上高の増加に伴う増益効果などにより、営業利益は1,562百万円(前年同四半期比6.2%増)、経常利益は1,442百万円(前年同四半期比6.0%増)となりました。なお、親会社株主に帰属する四半期純利益は979百万円(前年同四半期比28.3%減)となりましたが、これは、前期に亞德利玻璃(珠海)有限公司が清算終了したことにより同社に対する出資金が課税所得計算上損金処理されたため、前第2四半期連結累計期間の税金費用が減少していたためです。

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

#### <ガラスびん関連事業>

ガラスびんは、リターナブルびんやビールびんの出荷が大きく減少したことに加え、焼酎びんや清酒びんの需要が落ち込んだことにより出荷が伸び悩み、売上高は8,106百万円(前年同四半期比5.3%減)となりました。

#### <ハウスウェア関連事業>

ガラス食器は、一般市場向けの販売は堅調に推移しましたが、ビールメーカー向けの業務用品や景品の受注が落ち込みました。陶磁器は、国内のホテル・レストラン及び百貨店向けの受注が減少したことなどにより、セグメント全体の売上高は7,101百万円(前年同四半期比5.4%減)となりました。

#### <紙容器関連事業>

紙容器は、主要ユーザーへの拡販により受注が増加したことに加え、原材料や物流コストの上昇に伴う販売価格は正もあり、売上高は3,902百万円(前年同四半期比1.9%増)となりました。

#### <プラスチック容器関連事業>

プラスチック容器は、PETボトル用プリフォームが堅調な需要を背景に主要ユーザーからの受注が増加したことに加え、当期から本格的に生産を開始した新ラインの稼働により出荷総量が増加したことにより、売上高は17,121百万円(前年同四半期比18.0%増)となりました。

#### <産業器材関連事業>

産業器材は、ガスコンロ用トッププレートの受注は増加したものの、IHクッキングヒーター用トッププレートの受注が減少したことにより、売上高は782百万円(前年同四半期比13.2%減)となりました。

#### <その他事業>

抗菌剤は、海外市場において販路を拡大していますが、国内及び中国向けの売上高が減少しました。金属キャップは医薬品向けの出荷が伸び悩んだこともあり、セグメント全体の売上高は1,897百万円(前年同四半期比8.5%減)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ① 財政状態の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて1,334百万円減少し、79,865百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が増加した一方、その他(未収金)並びに現金及び預金が減少したことによるものです。

負債合計は1,715百万円減少し、51,886百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が増加した一方、有利子負債並びにその他(未払金)が減少したことによるものです。

純資産合計は381百万円増加し、27,979百万円となりました。これは主に、株価下落に伴いその他有価証券評価差額金が減少した一方、利益剰余金が増加したことによるものです。この結果、自己資本比率は31.3%(前連結会計年度末は30.4%)となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ921百万円減少し、2,612百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果増加した資金は、3,784百万円（前年同四半期は4,630百万円の資金増加）となりました。資金増加の主な要因は、税金等調整前四半期純利益、減価償却費及び仕入債務の増加等によるものです。一方、資金減少の主な要因は、売上債権の増加及びたな卸資産の増加等によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、3,978百万円（前年同四半期は1,638百万円の資金減少）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果減少した資金は、711百万円（前年同四半期は6,914百万円の資金減少）となりました。資金減少の主な要因は、長期借入金の返済による支出及びリース債務の返済による支出によるものです。

一方、資金増加の主な要因は、セール・アンド・リースバック取引による収入によるものです。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期通期の業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ、2019年4月24日に公表いたしました業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日（2019年10月24日）公表いたしました「2020年3月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月20日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月20日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,538	3,012
受取手形及び売掛金	11,506	12,628
商品及び製品	11,608	11,945
仕掛品	745	751
原材料及び貯蔵品	4,562	4,771
その他	3,184	1,558
貸倒引当金	△4	△6
流動資産合計	35,141	34,662
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,376	7,344
機械装置及び運搬具（純額）	6,753	6,150
土地	15,784	15,765
その他（純額）	6,787	6,988
有形固定資産合計	36,702	36,249
無形固定資産	176	164
投資その他の資産		
投資有価証券	7,445	6,868
その他	1,557	1,763
貸倒引当金	△29	△28
投資その他の資産合計	8,973	8,603
固定資産合計	45,852	45,017
繰延資産	205	185
資産合計	81,199	79,865

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月20日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月20日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,445	8,644
短期借入金	7,157	9,478
1年内償還予定の社債	739	1,617
未払法人税等	270	496
賞与引当金	698	720
その他	7,464	6,428
流動負債合計	23,776	27,387
固定負債		
社債	7,814	6,506
長期借入金	6,485	2,320
役員退職慰労引当金	69	71
汚染負荷量引当金	491	479
退職給付に係る負債	5,866	5,794
その他	9,097	9,326
固定負債合計	29,825	24,498
負債合計	53,602	51,886
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	6,344	6,344
資本剰余金	4,600	4,600
利益剰余金	6,349	7,056
自己株式	△84	△85
株主資本合計	17,210	17,916
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,567	2,217
繰延ヘッジ損益	13	9
土地再評価差額金	5,338	5,338
為替換算調整勘定	1	△3
退職給付に係る調整累計額	△479	△450
その他の包括利益累計額合計	7,441	7,111
非支配株主持分	2,945	2,951
純資産合計	27,597	27,979
負債純資産合計	81,199	79,865

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年3月21日 至2018年9月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年3月21日 至2019年9月20日)
売上高	37,389	38,912
売上原価	30,008	31,252
売上総利益	7,380	7,660
販売費及び一般管理費	5,909	6,098
営業利益	1,470	1,562
営業外収益		
受取利息	2	2
受取配当金	171	84
受取賃貸料	79	100
固定資産売却益	1	48
その他	38	32
営業外収益合計	292	268
営業外費用		
支払利息	185	179
為替差損	3	57
解約損	67	—
その他	144	151
営業外費用合計	402	387
経常利益	1,361	1,442
特別利益		
関係会社清算益	214	—
受取保険金	—	136
特別利益合計	214	136
特別損失		
早期割増退職金	—	23
災害による損失	56	—
固定資産除却損	20	—
特別損失合計	77	23
税金等調整前四半期純利益	1,499	1,555
法人税、住民税及び事業税	268	438
法人税等調整額	△214	47
法人税等合計	54	485
四半期純利益	1,444	1,069
非支配株主に帰属する四半期純利益	78	90
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,366	979



四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年3月21日 至 2018年9月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月21日 至 2019年9月20日)
四半期純利益	1,444	1,069
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	29	△407
繰延ヘッジ損益	239	△3
為替換算調整勘定	△153	△5
退職給付に係る調整額	57	28
その他の包括利益合計	172	△387
四半期包括利益	1,617	681
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,496	648
非支配株主に係る四半期包括利益	120	33

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年3月21日 至2018年9月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年3月21日 至2019年9月20日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,499	1,555
減価償却費	2,076	2,172
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△6	0
賞与引当金の増減額(△は減少)	27	22
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	1	1
汚染負荷量引当金の増減額(△は減少)	△12	△11
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△30	△33
受取利息及び受取配当金	△174	△87
支払利息	185	179
為替差損益(△は益)	12	44
関係会社清算益	△214	—
災害損失	56	—
早期割増退職金	—	23
受取保険金	—	△136
売上債権の増減額(△は増加)	453	△1,144
たな卸資産の増減額(△は増加)	△227	△569
未収入金の増減額(△は増加)	△18	125
前渡金の増減額(△は増加)	9	△31
仕入債務の増減額(△は減少)	1,001	1,204
未払費用の増減額(△は減少)	368	299
その他	△341	215
<b>小計</b>	<b>4,665</b>	<b>3,830</b>
利息及び配当金の受取額	174	87
利息の支払額	△185	△181
早期割増退職金の支払額	—	△23
保険金の受取額	—	136
法人税等の支払額	△23	△64
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>4,630</b>	<b>3,784</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	—	△400
定期預金の払戻による収入	4	4
有形固定資産の取得による支出	△1,661	△3,514
有形固定資産の売却による収入	3	67
投資有価証券の取得による支出	△9	△10
貸付けによる支出	△2	△81
貸付金の回収による収入	2	2
その他	26	△45
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△1,638</b>	<b>△3,978</b>

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年3月21日 至 2018年9月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月21日 至 2019年9月20日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額 (△は減少)	△5,000	△375
長期借入れによる収入	50	—
長期借入金の返済による支出	△2,331	△1,469
社債の発行による収入	1,358	—
社債の償還による支出	△381	△430
セール・アンド・リースバックによる収入	—	2,535
リース債務の返済による支出	△422	△665
配当金の支払額	△157	△272
非支配株主への配当金の支払額	△29	△33
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△6,914	△711
現金及び現金同等物に係る換算差額	6	△16
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△3,916	△921
現金及び現金同等物の期首残高	6,720	3,534
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,803	2,612

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年3月21日 至 2018年9月20日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	ガラス びん 関連	ハウス ウェア 関連	紙容器 関連	プラス チック 容器 関連	産器 業材 関連	計				
売上高										
外部顧客への売上高	8,562	7,504	3,830	14,515	901	35,315	2,073	37,389	—	37,389
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	12	—	246	—	259	2,915	3,174	△3,174	—
計	8,562	7,517	3,830	14,761	901	35,574	4,988	40,563	△3,174	37,389
セグメント利益	48	155	73	990	66	1,334	132	1,467	3	1,470

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、当社及び子会社の一部の事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額3百万円には、たな卸資産の調整額3百万円、その他△0百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 2019年3月21日 至 2019年9月20日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	ガラス びん 関連	ハウス ウェア 関連	紙容器 関連	プラス チック 容器 関連	産器 業材 関連	計				
売上高										
外部顧客への売上高	8,106	7,101	3,902	17,121	782	37,015	1,897	38,912	—	38,912
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	12	—	250	—	263	3,135	3,398	△3,398	—
計	8,106	7,113	3,902	17,372	782	37,278	5,033	42,311	△3,398	38,912
セグメント利益又は 損失(△)	△130	104	156	1,366	23	1,520	41	1,561	0	1,562

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、当社及び子会社の一部の事業を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額0百万円には、たな卸資産の調整額1百万円、その他△0百万円が含まれております。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。